

5年生プログラミング学習

2020年度から小学校では、プログラミング教育が必修化されています。その目的は、物事を順序立てて論理的に考える「プログラミング的思考」を伸ばすことです。

6月4日、5年生は、リビングロボットの竹島様に来ていただき、タブレット PCで命令を出してロボットを動かす学習をしました。命令の種類や順序を変えてロボットの動きが変わるので、子どもたちはとても意欲的でした。いまどきの学校にはいろいろな学習があります。



3年生 毛筆に挑戦

書写の授業では、文字の正しい筆順や字形を学び、文字を整えて書くための方法を学びます。文字の美しさや文を読みやすく書く方法についても学ぶので、これだけコンピュータやスマホが普及した現在でも大事な学習です。

先日、3年生は、初の「毛筆」に挑戦しました。ほとんどの児童は墨を使って筆で書いた経験がないので四苦八苦の1時間でした。書写の時間は、3年生以上が年間30時間程度することになっているので、6年生では美しい文字が書けるようになります。



5・6年生の読み聞かせ

図書委員会の発案で、朝の読書の時間に5、6年生が1、2年生に読み聞かせをしてくれました。5、6年生の図書委員は、緊張して1年生、2年生の教室を訪れ、読み聞かせをしてくれました。異学年交流は、社会での共生につながる価値観を育て、思いやりの心を育てます。



竹馬と一輪車

近頃、昼休みに校庭で竹馬や一輪車に挑戦する児童が増えてきました。竹馬は、そのバランスのとり方と動きが今の子どもたちが経験する遊びやスポーツにはないようで、なかなかうまくいきません。晴れた日には、

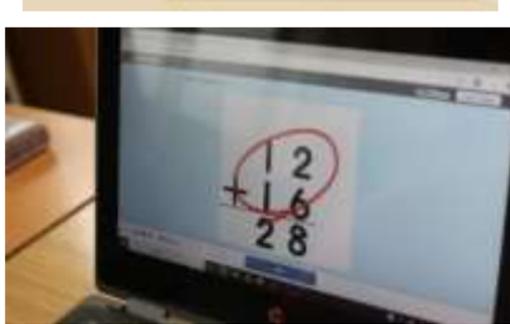
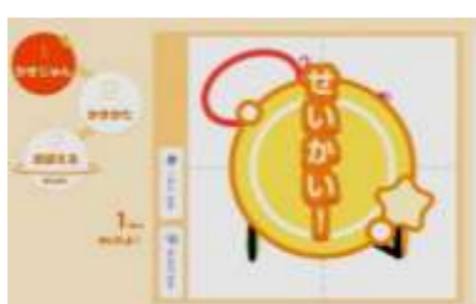


は、用務員の奥先生の竹馬教室が開かれています。また、一輪車も前後左右のバランスをとりながらペダルを踏むという行為が難しく、つかまりから離れられない子が多くいます。バランス感覚は、繰り返しやっていく中で身につくものなので、遊びでも「みんなできるところまで」粘り強く挑戦してほしいと思っています。

を歩いている児童が多いこと、中休みや昼休みに外でしっかり遊んでいる児童が多いからではないかと思っています。

タブレットドリル

学校でのタブレット PC 活用は、学習の個別化を可能にするというメリットもあります。学習の個別化とは、一人一人の学習の進み方や到達度に



に、ドリルプラネットというデジタルドリル(計算ドリルのオプション品を購入させてもらっています)を授業中の練習の場面や宿題で活用しています。ドリルプラネットは、何度も繰り返しが可能で、自分で問題のレベルを選べる、すぐにアプリが答え合わせをしてくれる、ヒントも教えてくれるという優れたものです。また、ウッディーやバスなどのトイ・ストーリーのキャラクターがガイド役として登場し、正答数が多くなると、登場するキャラクターが増え、自分でキャラクターや壁紙を変えられるお楽しみもあります。今後、授業中のドリルや宿題としてどんどん活用の機会を増やしていく予定です。保護者の方も一見の価値ありです。

みどりの小川清掃

5月31日に青少年育成部会の皆さんにみどりの小川の草刈りをさせていただきました。おかげで立石小の児童は、小川で生き物採集や観察ができます。今年は、3回やっていただくことになっています。



《今後の予定》

6
月

7
月